

リハビリロボット一緒に開発しませんか？

患者さんが日常に戻るため、手のリハビリ時間を増やすロボット開発



手・指・腕

スキマ時間に
リハビリの習慣を

手のリハビリ時間を増やすための新しい試み

脳卒中患者が行う手のリハビリは訓練の時間が不足しており、退院後の日常生活に大きな支障をきたしています。

私たちが開発する小型リハビリロボットは多機能のサーボモーターを独自のアルゴリズムで制御し、腕から指先までの複雑な動きにあわせた訓練を提供します。患者さんは姿勢を変えることなく、寝たままや座ったままで使うことができます。



一人でも空いた時間にできるリハビリ

現在の1日のリハビリ時間の割り当て

下半身の運動 約160分

上半身の運動 約20分

脳卒中で入院した患者さんのリハビリは、寝たきりを回避するために座る・立つ・歩く等の下半身の訓練が優先されます。

しかし、1日にできるリハビリは診療報酬の制度により3時間までに限られています。そのため上半身は十分に訓練できないまま退院を迎えてしまいます。私たちが開発するリハビリロボットは一人で扱うことができるため、従来のリハビリにあてられる時間以外で患者さんが過ごす1日の合間を活かすことができます。隙間時間に訓練の機会を作ることによって、リハビリの総時間を増やします。

協力者募集！

メカエンジニア・電子回路技術者・デザイナー・療法士

現在は研究開発ステージです。製品を上市するために開発の加速が必要です。ぜひ一緒に人のために役に立つ医療機器を開発しませんか！

神奈川県伊勢原市伊勢原1-7-24-205

Project RAKKUN

担当 大友

E-mail: info@rakkunreha.com